

自転車を活用した公共交通活性化の取り組み

- 「サイクルネットワーク みなと」 -

大藤武彦@（株）交通システム研究所
野出光吉@阪神電気鉄道株式会社
（前（財）大阪市都市工学情報センター）
長谷 徹 @大阪市計画調整局計画部
松村暢彦@大阪大学大学院工学研究科

The 3rd JCOMM in Kyoto
July 2008

<Contents>

1. 環境にやさしい交通をすすめるプロジェクト みなと
2. 「サイクルネットワーク みなと」の概要
3. 「サイクルネットワーク みなと」試験実施
4. 検証と評価
5. 課題と今後の取り組みについて



1. 環境にやさしい交通をすすめるプロジェクト みなと

対象地域: 大阪市港区

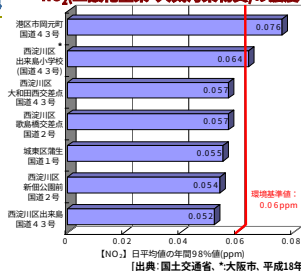


大阪湾部のクルマの問題



渋滞
と
環境

大阪市内主要国道沿道の NO₂(二酸化窒素・大気汚染物質)の濃度



弁天町駅前交差点から
箕谷川大橋に延伸する渋滞状況



沿道環境改善のために、これまでも様々な対策を実施してきたが、
根本的な解決には至っていない。

- ・道路施設、設備: 光触媒塗布、低騒音舗装、新型遮音壁、踏切撤去等
- ・環境ロードプライシング

モビリティ・マネジメントの取り組みをしよう！

広く市民、事業所、従業員の皆様お一人おひとりが、
“環境にやさしいクルマの使い方”に取り組むプロジェクトを開始(平成18年度)

●「環境にやさしい交通をすすめるプロジェクト」検討会を組織(会長: 港区

国土交通省、環境省、大阪府、大阪市、港区役所、大阪府地球温暖化防止活動センター、(社)港産業会、港区都市環境協議会、学識経験者

・ポータルサイト;

<http://www.osakacity.or.jp/mm/index.html>

平成18年度の取り組み

ドライバーの「環境にやさしいクルマの使い方」を考える」プログラム

大阪府トラック協会港支部のご協力いただき、主にドライバーの方を対象として、
トラベル・フィードバック・プログラムを実施
→環境にやさしい外出: 公共交通機関利用、高速道路への転換など

事業所・従業員の「環境にやさしい交通をすすめるプロジェクト」

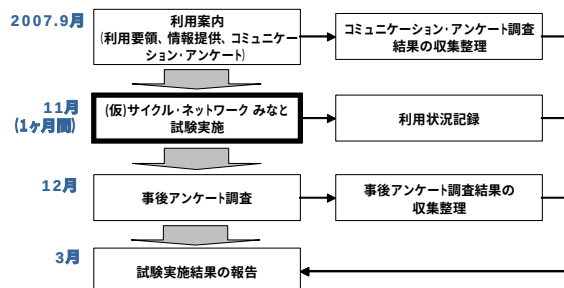
(社) 港産業会、港区都市環境協議会のご協力をいただき、事業所の経営者に交通マネジメント施策を推奨、従業員を対象にトラベル・フィードバック・プログラムを実施

普及・啓発活動

- ・エコドライブ講習会
- ・事業所担当者座談会
- ・児童絵画展での講演 など

3. 「サイクルネットワーク みなと」試験実施

●試験実施のプロセス



●利用案内と参加事業所

- ・案内: 519事業所 (港産業会他)
- ・60事業所 (12%) から回答、13事業所が参加申込み

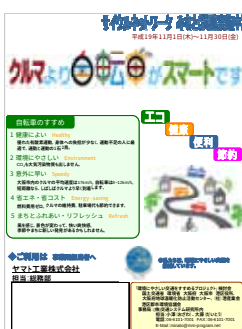
(昨年度の事業所アンケート調査で、自転車利用に興味がある事業所には訪問して参加依頼)

参加事業所数	定期利用	一時利用	レンタサイクル台数計
13事業所	37台	17台	54台

注: レンタサイクル予備: 6台を駅駐輪ポートに配備

●アンケート調査と情報提供

・利用案内ポスター (事業所用)



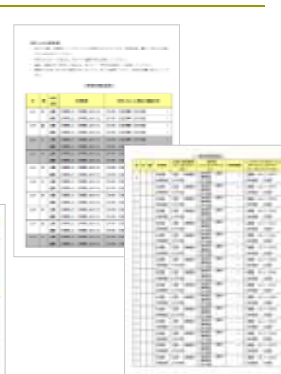
・利用案内チラシ (従業員用: コミュニケーションアンケート調査票)



「みなとチャリンコマップ」



「利用記録簿 (定期・一次)」



●利用状況

○定期利用者の利用回数

平均34回/月 (うち通勤利用: 30回/月、一時利用2回/月)

項目	平日利用	休日利用	一時利用	利用合計
総利用回数	825	74	48	947
一人当たり利用回数	29.5	2.6	1.7	33.8
(参考) 日数	21	9	21	30

注: 「定期利用記録簿」(回答者数28名)に基づく

(参考)事前アンケートの利用予定

通勤利用: 約7割が毎日利用
区内での用事: 約7割が週2~3回利用

○一時利用者の利用回数

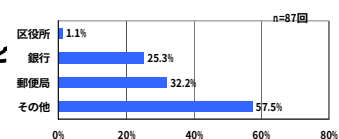
平均5回/月 (概ね1週間に1回の利用)

一時利用回数合計	87回/月
うち定期利用者	48回/月
定期利用者以外	39回/月
一時利用者数	18人
一人当たり利用回数	4.8回/月/人

注: 「一時利用記録簿」(回答者数18名)に基づく

○一時利用者の目的地

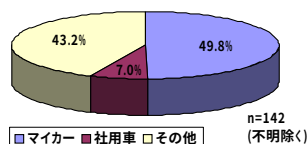
郵便局、銀行
得意先、食事、コンビニなど



4. 検証と評価

●クルマ利用の削減(定期利用者)

57%がクルマ利用からの転換



『定期利用記録簿』に基づく

レンタサイクルがなかった場合の交通手段

●CO2削減効果(定期利用者)

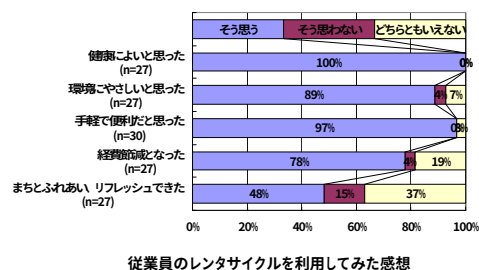
24.3トン-CO₂/年の削減
10.5キロリットル/年のガソリン節約(5.6万円/年/人に相当)

レンタサイクル1回当たりCO ₂ 削減量	3,962 g-CO ₂	
マイカー通勤からの転換トリップ数	511 回/月	参加者28名
CO ₂ 排出量合計値	2,023 Kg-CO ₂ /月	
年間CO ₂ 排出削減量	24,276 Kg-CO ₂ /年	12ヶ月相当

スギ樹木換算値(本)	1,734 本	スギ1本当たりCO ₂ 吸収量(地球温暖化防止のための緑の吸収源対策, 環境省・林野庁)
森林面積換算値	3.7 ha	
ガソリン消費量	10,464 リットル/年	2.32Kg-CO ₂ (地球温暖化の推進に関する法律施行令)
ガソリン価格節約額	157 万円/28人	参加者28名の効果
一人当たりガソリン節約額	5.6 万円/人	参加者28名の一人当たり

●当事者の評価

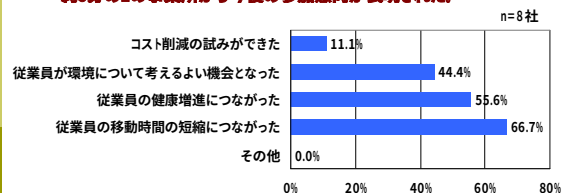
- ・ほぼ全員から賛意
- ・9割の参加者が「今後も利用したい」



従業員のレンタサイクルを利用してみた感想

●事業所の評価(良かった点)

- ・大半の事業所から「好評であった」と評価
- ・事業所としては、経済面、厚生面、社会貢献的な視点から評価された。
- ・約3分の2の事業所から今後の参加意向が表明された。

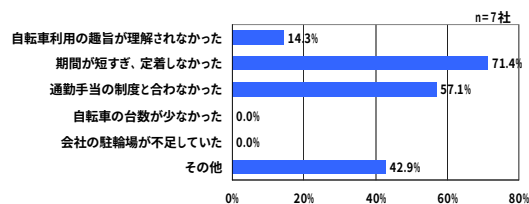


試験実施終了後も...

- ・レンタサイクルで利用した自転車を購入した事業所
- ・「レンタサイクルを利用するにはどうすればよろしいですか？」(個人からの問い合わせなども)

●事業所の評価(問題点)

- 試験実施期間が短すぎる
- 通勤手当制度との整合
- 試験実施を何でやめるねん！というお叱りの声



「広報みなと」折込チラシ(2008.3)



4.課題と今後の取り組みについて

①事業所の参加を促進するためのしくみの構築

- ・インセンティブの付与、参加を促進・継続するための組織整備など、参加を促進するためのしくみの構築
- ・より理解をいただくための広報・啓発

②より望ましいレンタサイクルシステムへの改良

- ・自由度の高いシステムなど要請にこたえる改良

③事業所が参加するための環境整備

- ・事業所が参加するための条件をクリアできる方策
(費用負担(特に駅駐輪場費用)、通勤制度との調整など)

④駐輪ポートの確保

- ・駅周辺地区の公共用地その他を対象とした駐輪ポートの確保
(鉄道駅自転車駐車場(有料)の活用には制度的な課題)
- ・駐輪ポートのネットワーク化
(区内の公共施設や商店街での駐輪ポートの確保)

ありがとうございました

港区では、継続して「環境にやさしい交通をすすめるプロジェクト」を推進します。